

達成指標別の令和3年現在の評価

達成指標は26指標29項目

2020年度(R2)目標値に対する達成率	100%以上	80%以上100%未満	50%以上80%未満	50%未満	その他*
指標項目数	13	11	1	3	1
【割合】	【45%】	【38%】	【3%】	【10%】	【3%】
目標達成状況 記号	◎	○	△	×	-

※No.20「学校給食における県産食材の利用割合」は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う学校の負担軽減の観点から調査回数を減らした(2回→1回)ため、R2年は参考値扱いとする

施策の展開	No.	項目	計画値	平成28年 (基準値)	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年 (目標年)	R2実績値	令和2年	R2実績値	令和4年	令和3年度の取組状況 (R3.10月末現在)	令和3年度の目標達成の見込み (達成困難の場合の要因や新型コロナウイルスの影響など) → 達成困難の場合の今後の方向性
										／R2目標値	目標達成状況	／R4目標値	目標達成状況		
【I-1】 次代を担う経営体の育成と人材の確保	1	中核的経営体	経営体	計画値	9,200	9,400	9,735	9,800	10,000	102%	◎	99%	○	経営体育成支援事業(18地区・139,003千円)、人・農地プランの実質化取組中(29市町村・106プラン)、人・農地プラン推進研修会の開催(Web・180名参加)、農業経営社へのサポート活動(重点指導農家71名)	達成見込み
			実績値	8,998	9,707	9,693	9,948								
	2	法人経営体数	法人	計画値	1,000	1,020	1,040	1,060	1,080	98%	○	94%	○	佐久ハローワークと共催による農業版個別相談会の開催(4/30・6農家・求職者8名)、長崎県と連携した特定技能外国人のリレー雇用の実施(7名・6~11月)、Jobサポと連携した個別相談会の開催(県下6回・求人46社うち農業関係5社)	概ね達成見込み
			実績値	958	1,001	999	1,020								
	3	中核的経営体への農地の集積率(現状値は2015年度)	%	計画値	42	45	48	51	54	90%	○	80%	△	人・農地プランの実質化取組中(29市町村・106プラン)、人・農地プラン推進研修会の開催(Web・180名参加)	達成は困難(要因:米の消費量の長期的な減少により、稲作の中核的経営体の経営規模拡大が抑制、新型コロナウイルスの影響:人・農地プラン実質化に向けた地域での取組スケジュールの遅延など) → 県現地支援チームを中心とした支援の強化、取組が遅れている市町村へ直接訪問し地区別重点指導
実績値				39	41	42	43								
4	新規就農者数(45歳未満)	人/年	計画値	250	250	250	250	250	69%	△	69%	△	県市町村JA合同就農相談会(9/18・Web・20市町村・9JA・来場者49名)、長野県農業人材確保・育成連携会議(9/15・22名)、「農活in信州」改訂版発刊(9月・2500部)	現時点での判断は困難	
			実績値	224	216	190	173								
5	集落営農組織数	組織	計画値	330	333	337	342	350	104%	◎	100%	◎	農業経営者総合サポート事業による個別支援(集落営農組織数6組織)	達成見込み	
			実績値	327	335	343	350								
【I-2】 消費者に愛され信用される信州農畜産物の生産	6	効率的な水田農業経営を行う経営体数	経営体	計画値	683	715	746	777	800	96%	○	90%	○	水田収益力強化ビジョンの設定に基づく作付け推進、水田センサー(90台・30経営体)、ラジコン畦畔草刈機の貸し出し事業(20箇所)の実施	達成は困難(要因:米の消費量が長期的に一貫して減少、新型コロナウイルスの影響:米需要の更なる低下による米価下落により規模拡大意欲が減退) → R4県主要農作物生産振興基本計画の策定、スマート農業等による低コスト化に取り組み産地を支援して規模拡大を推進、適正生産の徹底と麦・大豆等への転作による中核的経営体への農地集積を推進
			実績値	615	667	729	719								
	7	効率的な水田農業経営を行う経営体の面積割合	%	計画値	37.9	39.6	41.4	43.2	45.0	109%	◎	100%	◎		
				実績値	35.1	39.0	42.3	45.1							
	8	実需者ニーズの高い県オリジナル品種の普及面積(米・麦・そば・大豆)	ha	計画値	2,445	2,679	2,909	3,136	3,370	95%	○	82%	○	水稲「風さやか」の食味特性調査の実施、小麦・大豆の新品種への転換に向けた実需者との合意形成、「信州ひすいそば」産地化推進事業の実施	達成は困難(要因:麦・大豆の新品種への転換を控えた減産など、新型コロナウイルスの影響:米や酒米、そばの需要低下) → R4県主要農作物生産振興基本計画の策定、水稲「風さやか」の食味コンテスト開催、小麦加工品質検討会の開催
				実績値	2,000	2,328	2,633	2,777							
	9	果樹戦略品種等の栽培面積	ha	計画値	2,042	2,151	2,501	2,623	2,826	101%	◎	90%	○	「シナノリップ」の高密植・新しい化栽培モデル巡回検討会の実施(4会場)、「クイーンルージュ®」の目揃い会兼適期収穫研修会の開催(Web・9月)、知事ビデオメッセージ配信による県外市場向けPR(10月)	達成見込み
				実績値	1,884	2,191	2,390	2,534							
	10	りんご高密度植・新しい化栽培面積	ha	計画値	382	470	558	647	735	93%	○	71%	△	「シナノリップ」実証モデルほ場を活用した生産者等との意見交換の実施(7月・4回)、技術者を対象にトレリスの基本構造、補強等のポイント習得研修会の開催(7~8月・2回)	達成は困難(要因:初期費用が大きい、樹体凍害・風害による倒伏、フェザー一苗の供給が不十分など、新型コロナウイルスの影響:なし) → これまでの取組内容の検証、戦略策定の検討を行うワーキングチームの設置、りんご高密度植・新しい化栽培普及戦略(R4~R5)の策定
				実績値	257	307	358	520							
	11	夏秋期のレタス、はくさい、キャベツの全指定産地出荷量に占める契約割合	%	計画値	37.0	37.9	38.8	39.7	40.8	146%	◎	139%	◎	契約指定野菜安定供給事業による資金造成	達成見込み
				実績値	36.1	48.9	47.1	56.6							
12	信州ブランド魚の生産量(信州サーモン、信州大王イワナ)	t	計画値	3,600	3,800	3,800	3,750	3,800	114%	◎	114%	◎	県産食材「食べて応援」地域内消費推進事業の地産地消フェアにより県内小売店で信州プレミアム牛肉の販売(8月下旬~)、共進会と併せたフェアの開催	達成見込み	
			実績値	3,477	3,657	3,818	4,336								
13	国際水準GAP認証の取得件数	件	計画値	420	420	440	475	485	81%	○	73%	△	子ども食堂での信州サーモンの活用支援(農水省R2.3次補正事業活用・450kg)、県産食材「食べて応援」地域内消費活用推進事業の学校給食での利用促進(約68,000人・144校・約3.9トン)	達成は困難(要因:新型コロナウイルスの影響のみ、新型コロナウイルスの影響:外食・観光需要の低下) → 水産試験場によるきめ細かな巡回指導(出荷歩留まりの向上、飼養管理の徹底)の実施、養殖業者が必要とする稚魚生産・供給	
			実績値	345	439	450	355								
14	農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数	か所	計画値	20	30	41	37	42	107%	◎	105%	◎	GAP指導員の養成・資質向上(GLOBALG.A.P内部検査員トレーニングコース2名受講・ASIAGAP指導員研修1名受講・HACCPセミナー3名受講)	達成見込み	
			実績値	14	28	45	44								
15	農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備箇所数	か所	計画値	8	18	30	36	44	97%	○	66%	△	機能保全計画に基づく県営かんがい排水事業の実施(20地区)	達成見込み	
			実績値	—	8	16	29								

達成指標別の令和3年現在の評価

達成指標は26指標29項目

2020年度(R2)目標値に対する達成率	100%以上	80%以上100%未満	50%以上80%未満	50%未満	その他※
指標項目数	13	11	1	3	1
【割合】	【45%】	【38%】	【3%】	【10%】	【3%】
目標達成状況 記号	◎	○	△	×	-

※No.20「学校給食における県産食材の利用割合」は、新型コロナウイルス感染症対策に伴う学校の負担軽減の観点から調査回数を減らした(2回→1回)ため、R2年は参考値扱いとする

施策の展開	No.	項 目	平成28年 (基準値)	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年 (目標年)	R2実績値	令和2年	R2実績値	令和4年	令和3年度の取組状況 (R3.10月末現在)	令和3年度の目標達成の見込み (達成困難の場合の要因や新型コロナウイルスの影響など) → 達成困難の場合の今後の方向性	
									／ R2目標値	目標 達成状況	／ R4目標値	目標 達成状況			
【I-3】 需要を創出する マーケティング	15	「おいしい信州ふード」運動 協賛企業・団体数	団体	計画値	40	55	70	85	100	46%	×	32%	×	協賛候補企業への働きかけ、企業・団体との連携に向けた新たな仕組みの検討	達成は困難 (要因: 新たな協賛企業がある一方、費用等が負担となり協賛を取りやめる企業もあり10増9減、新型コロナウイルスの影響: なし) → 「おいしい信州ふード」のロゴやPR素材の利用など、会費を徴さない形での連携した取組を推進する
				実績値	31	31	32	32							
	16	「おいしい信州ふード」 SHOP登録数	店舗	計画値	1,400	1,450	1,500	1,550	1,600	102%	◎	96%	○	「おいしい信州ふード」ネットのSHOPページのデザイン改修、機能追加	達成見込み
				実績値	1,298	1,343	1,470	1,530							
17	県が主催する商談会における 農業者等の成約件数	件/年	計画値	270	290	310	330	350	45%	×	40%	×	長野県産品商談会の開催 (Web3回・リアル1回・41バイヤーと64事業者が商談)、「おいしい信州ふード」発掘商談会 (Web6回・17バイヤーと96事業者が商談)、しあわせ信州商談サイトNAGANOを活用したWeb商談会 (1回)	達成は困難 (要因: 新型コロナウイルスの影響のみ、新型コロナウイルスの影響: 県外での大規模商談会が開催できないなど) → マンツーマンのWeb商談のメリットを活かして商談成功率を向上、「しあわせ商談サイトNAGANO」への登録促進	
			実績値	208	287	271	141								
18	県産農産物等の輸出額	億円	計画値	10.0	12.5	15	17.5	20	99%	○	75%	△	GFPグローバル産地づくり推進事業による産地支援 (5地区)、輸出向けHACCP等対応施設整備支援 (1施設)、国「施設認定等検査支援事業」を活用したタイ向け青果物輸出の支援、外国語版デジタルツールや輸出ガイドブックの制作	概ね達成見込み	
			実績値	5.6	12.2	12.1	14.9								
【II-1】 本物を味わう食と 食し方の提供	19	売上高1億円以上の農産物 直売所数	施設	計画値	56	57	58	59	60	100%	◎	97%	○	県産食材「食べて応援」地域内消費推進事業によりコロナ禍で影響を受けた農産物の直売所等での消費拡大推進、直売所の運営支援に向けたアドバイザー派遣等	達成見込み
				実績値	52	59	59	58							
		売上高1億円以上の農産物 直売所の売上総額	億円	計画値	160	170	180	190	200	94%	○	85%	○		
				実績値	151	162	163	170							
【II-2】 しあわせな暮らしを 支える豊かな食の 提案	20	学校給食における県産食材 の利用割合	%	計画値	46.0	46.5	47.0	47.5	48.0	-	-	-	-	県産食材「食べて応援」地域内消費推進事業による県産ブランド食材の給食への提供。教育委員会や栄養教諭への研修会の開催、啓発普及活動	概ね達成見込み
		実績値		実績値	45.7	46.8	45.8	*49.6							
【III-1】 持続的な農業生産 活動を支える基盤 づくり	21	地域ぐるみで取り組む多面的 機能を維持・発揮するた めの活動面積	ha	計画値	44,785	45,986	47,239	48,520	49,800	97%	○	92%	○	長野県農業農村多面的機能発揮促進協議会と連携し、活動区域の広域化や事務委託など様々な取組に関する情報を市町村等へ提供、推進体制づくりや活動組織の立ち上げを支援	達成は困難 (要因: 地域のリーダーとなる人材が不足、活動組織が行う書類作成等の事務負担が大きい、新型コロナウイルスの影響: 十分な話し合いが困難など) → 既存組織の活動継続や新規組織の掘り起こしに向けて市町村と協議、事務負担軽減のための活動組織の広域化や外部団体等への事務委託の促進
				実績値	40,827	45,366	45,661	45,986							
22	荒廃農地解消面積	ha/年	計画値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	118%	◎	118%	◎	農地中間管理機構遊休農地活用支援事業の採択 (2地区・1.5ha予定)、農業委員会向け研修会 (Web・83名参加)、市町村、農業委員会による農地パトロール (8月全筆調査)	達成見込み	
			実績値	991	1,295	1,143	1,175								
【III-2】 多様な人材の活躍 による農村コミュ ニティの維持	23	都市農村交流人口	人/年	計画値	647,000	658,000	669,000	680,000	690,000	26%	×	25%	×	「信州農ある暮らしオンラインセミナー」の開催 (7/18・11/26・全4回予定 (信州農ある暮らし農園でのセミナー含む))、移住者、2地域居住者を対象とした「信州農ある暮らし農園」の開設 (茅野市)	達成は困難 (要因: 新型コロナウイルスの影響のみ、新型コロナウイルスの影響: 都市農村交流の減少) → アフターコロナを見据えてオンライン等を活用した魅力発信を行う (「信州農ある暮らしオンラインセミナー」、「信州農ある暮らし農園」オープニングセレモニー兼実践セミナーの開催)
				実績値	624,909	622,925	580,179	173,853							
24	地域おこし協力隊員の定着 率	%	計画値	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	113%	◎	113%	◎	「農ある暮らしガイドブック実践編 (Vol.2)」発刊に向けて原稿作成中 (R4.1月末発刊予定)、「信州農ある暮らしオンラインセミナー」の開催 (7/18・11/26・全4回予定)、オンライン就農相談会の開催 (19回・全31回開催予定)	達成見込み	
			実績値	69.2	77.0	77.4	85.0								
【III-3】 地域の強みを活か した農村景観や地 域資源の活用	25	農業用水を活用した小水力 発電の設備容量	kW	計画値	3,500	3,500	3,650	3,900	4,000	99%	○	90%	○	農業用水を活用した小水力発電施設の建設支援 (県営2地区・団体営2地区)	達成見込み
				実績値	2,184	3,024	3,581	3,613							
26	新たに観光資源として環境 整備された疏水等の箇所数	か所	計画値	5	10	15	20	25	100%	◎	60%	△	「信州棚田ネットワーク」を活用し、企業等との連携による新たな保全システムの構築を支援し、稲倉、姨捨で八十二銀行とパートナーシップ協定を締結	達成は困難 (要因: 新型コロナウイルスの影響のみ、新型コロナウイルスの影響: 人を呼び込む活動が困難など) → 農業資産見学案内人の養成研修会の開催、社会科副教材「長野県の米づくり」の改訂、長野管内排水機場パンフレット (仮) の教育活用	
			実績値	—	6	10	15								